



奥道257号線の要路地には、酒に就く「食器一式を特別に製造することが許可された「辻瀬磁器(左)」などの窯元が集まっている。地域にまつわる歴史や文化を「アリタ・ガイド・クラブ」の方が「窯」案内してくれる。

## しんまんトークセッション

# 有田焼の知られざるルーツを紹介し、 まちを元気に

全国に名を馳せる有田焼の産地、佐賀県有田町。平成21年7月、この町に新しいNPO団体「アリタ・ガイド・クラブ」が誕生しました。有田焼の長い歴史と秘話を織り交ぜ、まちの魅力を紹介するガイド活動と、まちづくり活動に取り組んでいる団体です。今回は、有田のご出身で法人設立以前から有田の観光案内ボランティアを経験されていた副理事長の中村貞光さんにお話をうかがいました。

### ●有田特有の歴史をモチーフに

「この有田には陶器市で何度か訪れた」とありますが、善段はとても静かで落ち着いたまちなのですね。今日ゆっくり町を歩いてみて、「このまち独特の情緒を感じる」ことができました。そんな有田のまちに昨年設立されたNPO法人「アリタガイド・クラブ」ですが、設立の経緯はどんなことでしょうか？

中村 この町は毎年春秋に開催される有田陶器市で有名ですが、有田焼のルーツを知る人は多くありません。有田には陶磁器の町として栄えた独自の歴史がありますが、それは人々に忘れ去られ、まちに往時の活気がありません。そこに危機感を覚えたことが設立の大きなきっかけでした。また、以前携わっていた有田観光案内ボランティアで、他県の方から「もっと有田のまちを知りたい」というお声をたくさんいただ

き、有田の貴重な歴史を風化させてはいけないと感じたことがもう一つの要因です。

他県にはそのような興味を持っておられる方がいらっしゃるのですね。実際、有田にはどんな歴史があるのですか？

中村 ひと言では語れませんが、有田は国内で唯一、長期に亘って磁器の生産が続いた歴史があります。磁器生産の全盛期であった江戸時代、有田焼は積み出し港の名を取って「伊万里焼」と呼ばれていました。当時その美しさは海外でも大絶賛され、大量輸出もしていたのです。また、幕府や大名などへの献上・贈答用の器を作っていた藩窯もあつた特別なまちでした。

### ●活動はガイド育成とまちづくり

そんな「すいまち」だったとは驚きです。中村さんはどのような歴史を、訪れる方々



聞き手  
吉水 真珠美

北沢カフェコーディネーター。ベビー・ブーム期のブランド監視を手掛ける。国策放送とエコをテーマにしたイベントを主催。自身のイラス・で描いた北沢の絵画は、スキャンジニア政府観光局「P」に掲載。

に伝える活動をしておられるのですね。活動の特徴などありましたら聞かせてください。

中村 私たちは大きく2種類の活動に取り組んでいます。観光ガイドの育成と、まちづくりへの貢献に関わる事業です。

ガイド育成では座学や現地視察などを定期的に開催しています。お客様のご要望に添った「オーダーメイドのガイド」がモットーです。一般的なガイド本にはない情報を加えたオリジナルルーツをガイドがご案内します。話の中にもゆるいゆんちくや逸話、地元ならではの視点を取り入れるよう、ガイド・クラブとしての意識の統一を図るよう努力しています。

また、まちづくりでは「150年前の有田皿山は歩こう隊」というプロジェクトに取り組んでいます。これは、「花下



話し手  
なかむら きたみつ  
中村 貞光

佐賀県西松浦郡有田町出身。東京にて約23年間薬局を経営。帰省後、民間療法としてのピフ温熱療法を学び、現在その普及活動を行う。2004年、有田の「語り部」研修に参加したことから、有田の魅力を伝える新しい観光ガイドの組織作りにも取り組む。2009年より、NPO法人アリタ・ガイド・クラブ副理事長就任。

コミュニティミュージアム・プログラム2009」という、市民活動を行う団体を応援する公募プロジェクトに採択されたものです。私たちはこちらからいただいた助成金を利用し、古地図と現在の地図を見比べられる新しい地図づくりを励んでいます。全員で町を歩いて各所を確認しながらの作業で、平成22年秋頃の完成予定です。

**実際に活動を行った会員や有志の方々の反応はいかがですか？**

中村 会員を含め現在65名の有志がおり、その多くから地元の知らない部分を発見できたとか、ためになったというコメントをいただいています。歴史はもちろん、時代とともに変化してきたまち並みや自然の風景を古地図と照らし合い、有田を訪れる方が楽しめる現代版の地図はどのようにつくっていくか、各自がアイデアを出し合っています。

少しずつこの町に変化の波ができていくような期待感がありますね。逆に住民の方の反応はいかがでしょう？

中村 そんなことをしている団体なのかご存知ない方は多いと思います。一部では、「このガイドはお店にお客様を連れてきてくれない」とおっしゃる方もいらっしやいます。しかし、今後の継続的な活動を通して、私たちの描くガイド活動やまちづくりに対する考え方を理解していただければうれしいですね。

●活動の発展と情報共有

このような活動が理解されるには時間がかかるのかもしれませんが、多くの住民がまちのあり方を真剣に考えるようになる……。そうなるととてもステキですね。今後の具体的な活動は何かありますか？



ガイド育成の一環として、有田の陶石場も視察し、ガイドをする際のポイントを確認する。

中村 まずはガイドの育成と、現在進めている地図のプロジェクトを進展させることです。この二つの活動を継続させながら、具体的なプロジェクトの方向性を決定する予定です。現段階では、有田のまちあるきプログラムをつくろうという案がありますが、実際に活動を始めるためには、もう少し話を詰めなければいけませんね。

最後に、これからまちづくりに取り組もうとされている方へメッセージをお願いします。

中村 活動内容が散漫にならないために、初めに活動のコンセプトを決めることが重要です。また、活動内容は公開して組織の透明性を保つていただきたいですね。私たちのような団体が情報を共有することでアイデアの幅は広がりますし、継続の潤滑油にもなると思いますよ。



ガイド育成座学の様子。「アリタ・ガイド・クラブ」作成のオリジナルテキストを用いて、有田の歴史・文化・経済を細かく学ぶ。

有田のまちの魅力をお聞きできたと同時に、まちを元気にしたいというエネルギー的な意気込みを感じることができて感動しました。さらに、これからの活動に期待しています。本日はどうもありがとうございました。

取材協力先

特定非営利法人  
アリタ・ガイド・クラブ

佐賀県西松浦郡有田町上幸平1-8-5  
☎050-5539-5349  
<http://arita-guide-culb.net/>